

## 第10回全社工務関係業務研究発表会 開催

### 全社工務関係業務研究発表会の概要

本発表会は、電力流通設備を管轄する支店や電力センターなど第一線事業場における業務改善研究やコストダウンの検討・実施事例等を発表し、全社水平展開する場として平成11年度より電子通信部・系統運用部・工務部・土木建築部の4部合同で開催しています。

発表会を通じて、第一線事業場の日常業務に密着した技術研究に対する意識高揚、更なる現場技術力のレベルアップ、支店間および部門間の情報共有化を図っています。

### 第10回全社工務関係業務研究発表会

第10回を迎えた平成20年9月18日、中電労組会館において、約160名が参加する中、20件の研究活動の成果が発表されました。公衆保安確保、劣化診断技術やその具体的な適用方法など、いずれも電力安定供給や電力品

質確保に資する研究成果が発表され、活気ある発表会となりました。審査の結果、最優秀賞および6件の優秀賞が次のとおり選ばれ、審査委員長の藍田土木建築部長より表彰状が授与されました。



発表会の様子

### 最優秀賞の概要

送電鉄塔が地上デジタル放送へ及ぼす影響有無の判定手法およびその対策方法に関する一検討  
発表者：四日市電力センター 電子通信課 湊 幹夫

#### [ 概要 ]

実測の結果から、地上デジタル放送における送電鉄塔の影響は、垂直方向の電界変動量と変動回数に特徴が表れることを明らかにし、これを定量化して判定パラメータとする影響有無の判定手法を考案した。

また、鉄塔影響が明らかになった場合の対策方法として、前段で述べた特徴を考慮すると最も適切かつ効果的な対策方法と考えられる垂直スタック方式について、その有効性を検証した。

さらに、鉄塔近傍において発生する、位相ずれによるスタック出力の低下について、短尺同軸ケーブルによる位相調整方法を考案し、その有効性を検証した。



対策検証の様子

### 優秀賞 受賞件名

件 名	所 属	発表者
マンホール金蓋高修正工法の開発(六角工法)	中電力センター 地中線一課	佐久間健二
河和33kV系統 瞬間地絡故障時の故障回線判定システムの開発	半田電力所 変電課	澤田 悦治
人工巢の取付位置とその設置効果について (カラス鳥害防止対策)	浜松電力センター 送電課	榛葉 祐二
伊勢方面電圧安定化装置(L-VQC)の電圧制御用整定値の検討について	三重支店 技術部 給電課	水谷 厚司
天候に左右されない6kV電力ケーブル漏れ電流測定手法の確立	多治見電力所 変電課	青木 正幸
下原(発)洪水吐巻上機取替工事における延命対策	飛騨電力センター 土木課	馬淵 一彦